

製品安全データシート

Antioxidant 1425

作成 : 2020/5/12
改訂 :

● 項目1 化学品及び会社情報

化学品の名称 3, 5-ジ-tert-ブチル-4-ヒドロキシベンジルホスホン酸モノエチルエステルのカルシウム塩

会社名 Keeneyes International Company Ltd.
住所 D Floor 8-2, No.51, Hengyang Rd., Taipei, Taiwan, R.O.C.
担当部署
担当者(作成者)
電話番号 +886 (2) 2313-1234
FAX番号 +886 (2) 2313-1555
メールアドレス keeneves@loyal.com.tw
緊急連絡先番号

販売代理店 サンケミカル株式会社
住所 東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング
電話番号 03-3661-6681
FAX 03-3661-7055
メールアドレス yano@sun-chemical.co.jp
HP <http://www.sun-chemical.co.jp/>

推奨用途及び使用上の注意

★ 項目2 危険有害性の要約

GHSの分類
物理化学的危険性: 単回暴露 区分3
健康に対する有害性: 分類できない
環境に対する有害性: 分類できない

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分に該当しない	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

● GHSのラベル要素

● 絵表示又はシンボル



● 注意喚起語 警告

● 危険有害性情報

H335 呼吸器への刺激のおそれ

● 注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。

P261 煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P304+P340: 飲み込んだ場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 施錠して保管すること。
P501 内容物/容器を条令、法令、国際規制に従い、内容物と容器を破棄すること。

【応急措置】

吸入した場合 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
粉は呼吸器に刺激を与え、気管支炎の原因になる。

皮膚に付着した場合 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚に付着した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合、口をすすぐこと。 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
【保管】	産業衛生を遵守すること。 皮膚に触れないこと。 火気を近づけないこと。 水分を近づけないこと。
【廃棄】	法令に従い、廃棄すること。

項目3 組成及び成分情報	
化学物質・混合物の区別	
化学名又は一般名	3, 5-ジ-tert-ブチル-4-ヒドロキシベンジルホスホン酸モノエチルエステルのカルシウム塩
慣用名・別名	
化学物質を特定できる一般的な番号	
CAS番号	65140-91-2
成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)	
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	化審法:3-3606 安衛法:4-(9)-241
GHS分類に寄与する成分	
REACH登録番号	01-2119977095-28-0003

▲ 項目4 応急処置

いずれの場合も医師の診断を受けること。

吸入した場合	吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 粉は呼吸器に刺激を与え、気管支炎の原因になる。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚に付着した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。 汚染された衣類をすべて脱ぐこと。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合、口をすすぐこと。 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
詳細な徴候及び症状は、項目11-有害性情報に記載する

応急処置をする者の保護

医師に対する特別な注意事項

毒劇物の場合、解毒剤

項目5 火災時の措置

消火剤	水噴霧、消泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	棒状放水

火災時の措置に関する特有の危険有害性
 燃焼時、一酸化炭素と二酸化炭素が形成される。
 温度上昇時に特定の酸に触れると、激しく爆発する。
 熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。
 激しく加熱すると燃焼する。
 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法
 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 爆発の可能性があるので、壁に隠れて消防を行うこと。
 熱を持っている場合、荷物を移動させないこと。
 安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋
安全グラス

保護具

熱や火災にさらされている場合、呼吸機器を身に着けること。

項目6 漏出時の措置

<p>人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置</p>	<p>裸火を近づけない事。腐食耐性の器具を使用する事。容器を密閉すること。 大量/密室で漏れた場合、避難方法を考慮すること。</p>
<p>環境に対する注意事項</p>	<p>汚染場所から離れる事。関係のない人を避難させること。換気をする事。 項目8を参照ください。</p>
<p>封じ込め及び浄化の方法及び機材</p>	<p>手袋、顔の保護具、密室での漏出時、酸素呼吸器を着用すること。 適切な保護具は項目8を参照下さい。</p>
<p>二次災害の防止策</p>	<p>漏出物を適切な容器に入れる。漏出液を塞いで、漏れを止める。 土壌と水を汚さないようにする。 下水に流れないようにする。</p>

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意
取扱い

<p>技術的対策 (局所排気、全体換気)</p>	<p>「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、 保護具を着用する。 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。</p>
<p>安全取扱注意事項</p>	<p>産業衛生を遵守すること。 皮膚に触れないこと。 火気を近づけないこと。 水分を近づけないこと。</p>
<p>接触回避</p>	<p>「10. 安定性及び反応性」を参照。</p>
<p>衛生対策</p>	<p>厳しく監視すること。容器は密閉すること。汚染された衣類は直ぐに脱ぐこと。 廃棄物を下水に流さないこと。</p>
<p>保管</p>	<p>安全な保管条件</p> <p>涼しく、換気の良い乾燥した場所</p>
<p>近づけてはいけないもの</p>	
<p>安全な保管保管包装材料</p>	<p>元の容器</p>

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

<p>日本産業衛生学会(2005 年版) ACGIH(2005 年)</p>	<p>未設定 未設定</p>
--	--------------------

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。または換気を行うこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

アース線の設置を行うこと。裸火、熱に近づけない事。水を含んだ物質を近づけないこと。
引火点よりも温度が高い場合、耐火、耐爆発の設備を使用すること。
粒子状の場合、耐火、耐爆発の設備を使用すること。
呼吸器官を保護、もしくは局所、全体換気の管理で作業を行うこと。
厳格な衛生管理の下で作業し、容器は密閉し、作業中の飲食と喫煙は避けること。

保護具

<p>呼吸用保護具</p>	<p>ダストフィルターのあるマスクを着用すること。 自動呼吸機器を着用するか、換気の様状態を維持すること。</p>
<p>手の保護具</p>	<p>化学品向けの手の保護具を身に着けること。</p>
<p>眼の保護具</p>	<p>眼を覆う保護具を着用すること。</p>
<p>皮膚及び身体の保護具</p>	<p>全身を覆う保護具 耐久性のあるもの。</p>

特別な注意事項

項目9 物理的及び化学的性質

<p>物理的状态</p>	<p>粉状</p>
<p>色</p>	<p>白</p>
<p>臭い</p>	<p>無し</p>

融点・凝固点	≥300°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データ無し
可燃性	データ無し
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データ無し
引火点	データ無し
自然発火点	271°C
分解温度	データ無し
pH	データ無し
動粘性率	データ無し
溶解度	メタノールに溶解する。 2.4g/L (20°C) ECHAより
n-オクタノール/水分配係数(Log値)	Log Kow -0.1(23°C) ECHAより
蒸気圧	データ無し
密度及び/又は相対密度	1.2g/cm3
相対ガス密度	データ無し
粒子特性	
その他のデータ	
透過率	425nm 80%min 500nm 85%min

● 項目10 安定性及び反応性

反応性	
化学的安定性	通常は安定。
危険有害反応可能性	
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	静電気、火、熱
混触危険物質	酸化剤、強塩基
危険有害な分解生成物 その他	二酸化炭素、一酸化炭素 酸化リン

★ 項目11 有害情報

急性毒性	経口/≥6000mg/kg ラット 吸入/2350mg/m2 air
皮膚腐食性/皮膚刺激性	僅かに刺激がある
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	僅かに刺激がある
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ無し
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	データ無し
特定標的臓器毒性、単回曝露	データ無し
特定標的臓器毒性、反復曝露	データ無し
誤嚥有害性	

データ無し

その他

項目12 環境毒性情報

生態毒性

LC50	>100mg/l	96H	ゼブラフィッシュ
EC50	>100mg/l	48H	大ミジンコ
IC50	>100mg/l	3H	バクテリア
EC50	>100mg/l	72H	藻

残留性・分解性

分解しない

生態蓄積性

データ無し

土壌中の移動性

データ無し

オゾン層への有害性

データ無し

他の有害影響

▲ 項目13 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい破棄、又はリサイクルに関する情報

法令に従い、廃棄すること。

項目14 輸送上の注意

国際規制

国連番号

品名(国連輸送名)

非該当

非該当

国連分類

(輸送における危険有害性クラス)

非該当

容器等級

海洋汚染物質

(該当・非該当)

非該当

非該当

MARPOL73/78附属書Ⅱ及び

IBCコードによるばら積み輸送される液体物質

(該当・非該当)

データ無し

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

国際輸送法、日本法に従い、輸送をすること。

国内規制がある場合の規制情報

その他

応急措置指針番号

データ無し

項目15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化管法

非該当

安衛法

通知・表示対象物質 非該当

毒劇法

非該当

火薬類取締法

非該当

高圧ガス保安法

該当なし

消防法

データ無し

化審法

既存化学物質

船舶安全法

データ無し

航空法

データ無し

バーゼル法

データ無し

外為法

データ無し

港則法

キャッチオール規制

データ無し

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

項目16 その他の情報
安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報
引用文献

オリジナルMSDS
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE

その他

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実取扱いを対象としたものです。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の見解によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい見解に基づいて改訂されることがあります。

赤字	必須情報	★	リスクアセスメント必須事項
青字	可能なら記載する情報	●	ラベルに記載する情報
黒字	無くても良い情報	▲	安衛法ラベルの注意書きの項目
色分け	2019年改正JIS Z7252/Z7253		(但し、ラベルに全て載せる必要はない)